

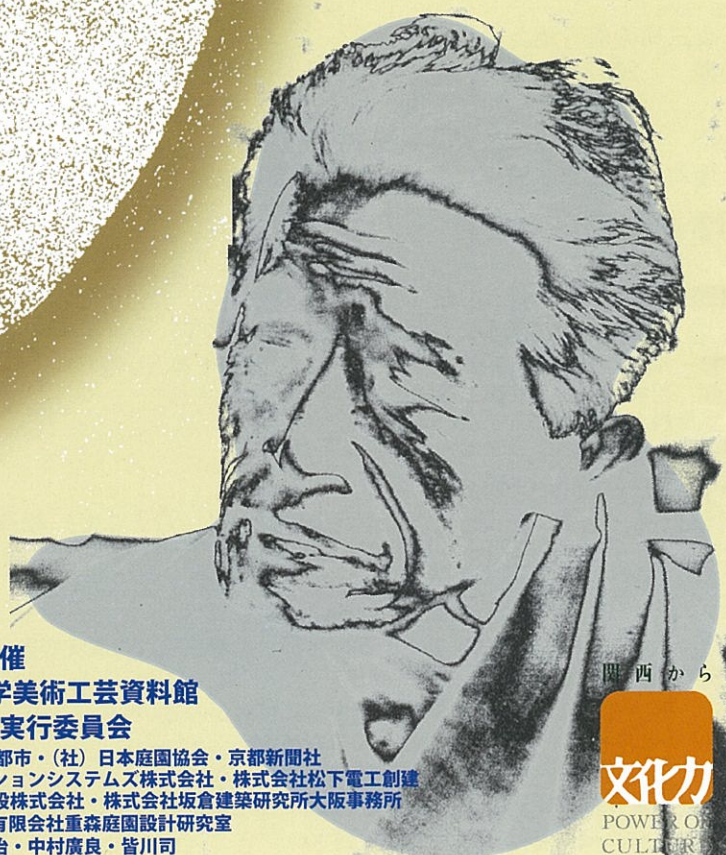
生誕 110年 重森三玲の



地上の小宇宙

The Garden of Mirei Shigemori---A ground microcosm

2007年6月25日(月)～2007年8月4日(土)日・祝を除く10:00～17:00(入館は16:30まで)  
一般200円、学生150円、高校生以下無料  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館 (左京区松ヶ崎)



主催  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
重森三玲展実行委員会

後援 京都府・京都府教育委員会・京都市・(社)日本庭園協会・京都新聞社  
協賛 松下電工株式会社・松下電工インフォメーションシステムズ株式会社・株式会社松下電工創建  
株式会社トーダン・株式会社日建設計・塩田建設株式会社・株式会社坂倉建築研究所大阪事務所  
(株)安井建築設計事務所・有限会社重森庭園設計研究室  
井上昌幸・田茂井勇治・中村廣良・皆川司

M  
écénat

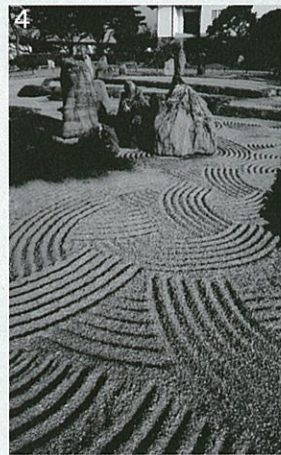
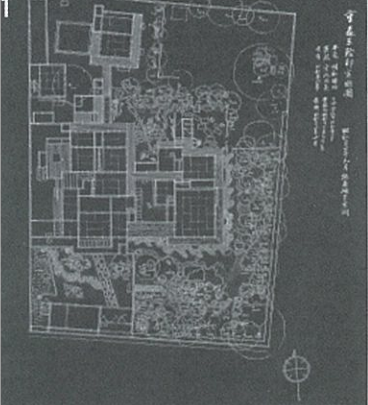
関西から

文化力  
POWER OF  
CULTURE

# 生誕 110年 重森三玲の庭



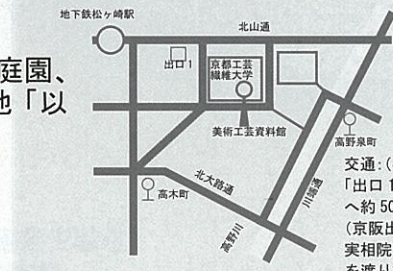
The Garden of Mirei Shigemori---A ground microcosm



1: 重森三玲邸実測図(青焼) 2: 漢陽寺庭園(地蔵遊化の庭) 3: 小河邸庭園(主庭) 4: 岸和田城庭園(地陣石組と砂紋の取り合わせ) 5: 小河邸庭園(小河邸書院内部)

重森三玲(しげもり・みれい、1896(明治29)年~1975(昭和50)年)は、日本の伝統的な古庭園を調査し、独自のスタイルで庭に斬新なデザインを取り入れ、永遠のモダンを追求した昭和の作庭家として知られその活動は日本全国におよんでいます。三玲は1896(明治29)年岡山に生まれ、日本美術学校で日本画を学んだのち、いけばな、茶道、建築など、日本文化全般の研究、および庭園を独学で学びました。また1933(昭和8)年、勅使河原蒼風らといけばな界の革新を唱え『新興いけばな宣言』草創文の作成者としても知られています。1936(昭和11)年~1938(昭和13)年、本格的な全国古庭園実測調査を手掛け、それを基にした成果発表と共に自らも作庭に力を注ぎました。日本史上初めての市松デザインによる北庭が有名な公の場における事実上のデビュー作東福寺(京都東山)方丈庭園を代表作に、生涯に200あまりの作庭を手掛けました。

本展は昨年秋の東京汐留ミュージアムで行われた展覧会によっておきた反響の大きさを汐留ミュージアム同様の古庭園の実測図(原図)、自身の作庭として東福寺をはじめとする14箇所の庭園を撮り下ろしの写真と図面(原図)・スケッチ(原図)・映像、併せて勅使河原蒼風、小原豊雲、中川幸夫、伊サム・ノグチ達との交友関係、いけばな関係の資料の展示により関西に伝え、三玲が長年にわたり研究してきた成果の全貌に迫るものであります。



交通: (JR京都駅から)市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車、「出口1」より右(東)へ、四つ目の信号を右(南)へ約50m。(京阪出町柳駅)5番出口より京都バス「大原」「岩倉実相院」「岩倉村松」行き乗車、「高野泉町」下車、橋を渡り右へ約50m。

問い合わせ  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館(京都市左京区松ヶ崎)  
TEL: 075-724-7924 E-mail: siryokan@kit.ac.jp

生誕 110年  
重森三玲の庭 地上の小宇宙  
会期 2007年6月25日(月)~8月4日(土)  
日・祝を除く 10:00 17:00(入館は16:30まで)  
場所 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
入場料 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

■重森三玲展関連企画  
◆シンポジウム  
日時 2007年7月14日(土)15:00から  
会場 京都工芸繊維大学1号館0111講義室  
パネー 尼崎博正(京都造形芸術大学教授)・重森千青(作庭家)  
司会 西村征一郎(京都工芸繊維大学名誉教授)  
入場無料・定員150名(当日先着順)  
問い合わせ 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

◆重森三玲庭園見学会  
開催日時・場所: 6/30(土)岸和田城庭園、7/7(土)松尾大社庭園、7/14(土)東福寺方丈庭園、7/21(土)香里団地「以楽苑」、7/28(土)非公開・個人邸園  
各日10:30現地集合  
主催 (社)日本建築美術工芸協会かんさい/重森三玲京都展実行委員会  
講師 作庭家重森千青  
申込・問い合わせ (社)日本建築美術工芸協会かんさい  
TEL: 06-6447-8077(藤田)  
FAX: 06-6447-8078

詳細は(社)日本建築美術工芸協会(aaca)かんさいのホームページ  
(http://aaca-kansai.com)をご覧ください。